

55. 使ってみよう！1か月予報と異常天候早期警戒情報

目的・概要

防災気象情報や毎日の天気予報、週間天気予報は、普段から観光行政にご活用いただいていることでしょう。さて、民間気象会社が発表するさくらの開花予測なども気にされていることと思いますが、このように2週間先とか1か月先の天候に影響を受ける業務の計画/進捗管理はどうされていますでしょうか？

気象庁が提供する、週間天気予報より先の予測情報である「1か月予報」や「異常天候早期警戒情報」は、特定の日の天気を予測することはできませんが、これらの気温や天気の傾向予測を上手に利用すると、業務への悪い影響を軽減し、良い影響を利用すること（気候リスク管理）ができます。

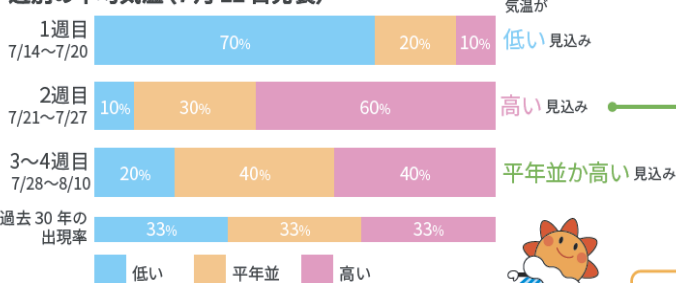
1か月予報では気温を週別に予想しています。週間天気予報より先の気温の傾向がわかりますので、例えばこのような使い方ができます。

今日（下の図で7月12日）発表の1か月予報（サンプル）によると、1週目は気温が低い確率70%、2週目は高い確率60%で、下の図のように2週目に気温がぐっと高くなる可能性が高いことがわかります。20日頃から暑くなるので、いまのうちに熱中症対策※をはじめることがおススメです。

※体が暑さに慣れるためには数日から2週間程度の時間が必要といわれています。あらかじめ運動で汗をかくなど体を慣らしておきましょう。

1か月予報を観光施策に活かそう！

週別の平均気温（7月12日発表）

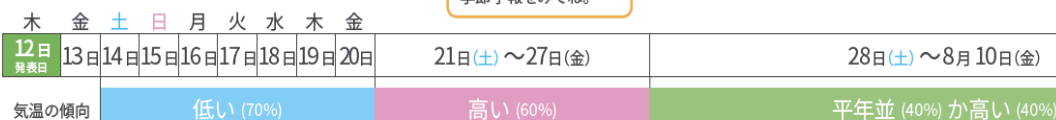


1か月予報では、まず気温に注目してね

1か月予報を利用すると、週間天気予報より先の気温の傾向がわかり、業務に役立ちます。

週間天気予報より先は季節予報をみてね。

7月



このところ涼しかったけど、来週末から急に暑くなるよ。エアコンの調子は大丈夫かな？

熱中症にかからないよう
いまのうちに汗をかいて体を慣らしておこう。

異常天候早期警戒情報（12日発表）
気温がかなり高くなるよ！

帽子や日傘、飲み物も準備が必要だね。

8月上旬にかけても気温の高い傾向は続きそうだよ。
夏バテに気をつけて！

異常天候早期警戒情報も発表されたよ！

2週間後までに著しい高温や低温、降雪量が見込まれる場合は、異常天候早期警戒情報を発表して、注意を呼びかけます。

季節予報って何？ 🔍 検索



〇問い合わせ先 : 大阪管区気象台 地球環境・海洋課
電話 06-6949-6653